

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

凍結予防をするとき

1 止水栓または元栓を閉める
・給水が止まる

△注意

止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が漏れ出す原因)

●水抜栓がある場合
・水抜栓を操作して給水を止める

お願い

・止水栓を開けたままにしておいてください。
(製品内部の水が凍けずに凍結破損するおそれ)

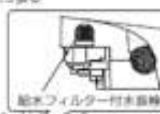
2 ロータンクレバーを大洗浄側に回してロータンクの水を抜く
・水が流れなくなるまでレバーを回す

3 を押す
(給水側の圧抜き)

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く

①給水フィルター付水抜栓を取りはずす
・給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめたあと、引く



②給水ホースの水を抜く



③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を取り付ける
・給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

7 便座温度を「高」、温水温度を「高」にする
・促進のため、作業後は便座・便器たを開けておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

水抜きの手順

① ロータンクの水を抜く

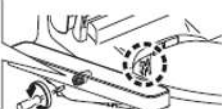
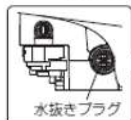
②  を押す (給水管の圧抜き)

③ 電源プラグを抜く

④ 配管の水を抜く

⑤ 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

- ・ノズル付近から水が出る
(水がすべて抜けるまで約3分かかります。)
- ※水抜きプラグは取りはずしできません。



⑥ 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締める



■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水 (封水) に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。

再通水の手順

① 止水栓または元栓を開ける
または水抜き栓を操作して、給水する

- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

② 電源プラグを抜いているときは

電源プラグをコンセントに差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

③ ノズルから水を出す

- ① 便座の左側を押したまま、
- ② ウォシュレット本体操作部の「おしり」ボタンを押して、ノズルから約2分間水を出す
・ノズルから水が出るまで最大約1分かかります。
・水は紙コップなどで受けてください。
- ③ ウォシュレット本体操作部の「止」ボタンを押す

■残水が凍結して出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お漏に濡した布で給水ホースと止水栓を温める

